

様式第1号(第4条関係)

記入例

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

大村市長 〇〇 〇〇 殿

申請者 住 所 大村市玖島1丁目25番地  
氏 名 大村建設株式会社 印  
代表取締役 大村 太郎  
電 話 番 号 0957-53-4111  
担 当 者 大村 二郎

地籍調査の標識一時撤去(移転)申請書

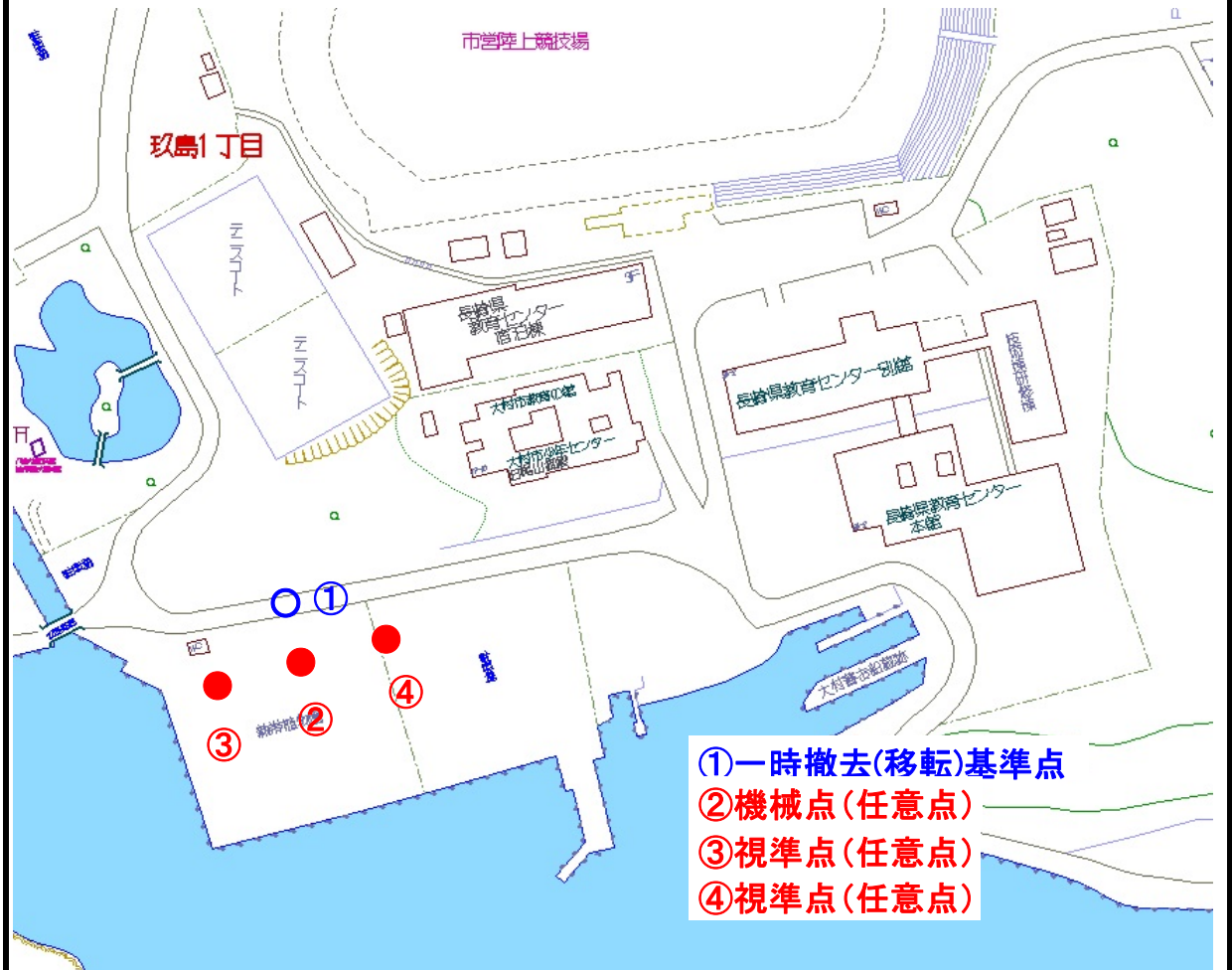
下記の事由により一時撤去(移転)を申請します。

記

撤去(移転)を必要とする事由	道路改良工事のため
基準点標識の種類及び番号	J <sup>2</sup> J <sup>2</sup> 275-1
撤去(移転)を必要とする場所	大村市 玖島1 丁目 <del>1</del> 12 番地
撤去(移転)工事期間	自 令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 至 令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
復旧(移転)工事の時期	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
備 考	

(注)付近の見取り図を添付すること。

## 位 置 図



※地図上に、①②③④の位置を **赤色** で記入し③④は①が視準できる位置をお願いします。

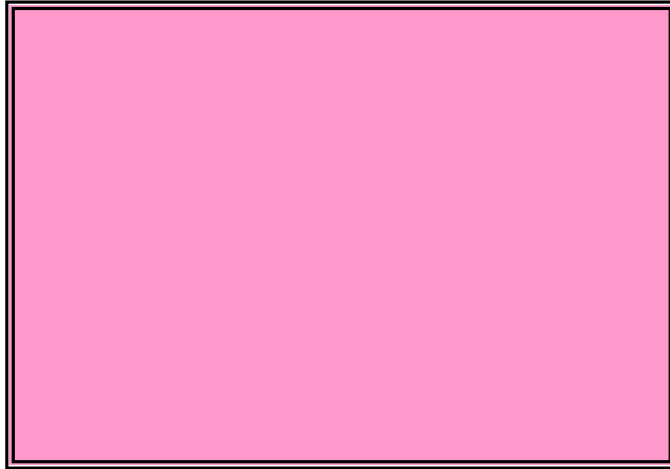
- ①一時撤去(移転)基準点…今回一時撤去(移転)する地籍図根多角点
- ②機械点(任意点)…座標値はX軸(0.000)、Y軸(0.000)でお願いいたします。
- ③視準点(任意点)…一時撤去(移転)するために設ける任意の鉄または杭等
- ④視準点(任意点)…一時撤去(移転)するために設ける任意の鉄または杭等

### 座 標 値 (任意座標)

標識の番号	J <sup>2</sup> J <sup>2</sup> 275-1	X	Y
①	撤去前	0.523	-1.735
	復旧後		
②		0.000	0.000
③		2.345	-1.234
④		-1.223	4.321

※注 復旧後の許容誤差は2mm以内です。

一時撤去(移転)前の写真



一時撤去(移転)後の写真



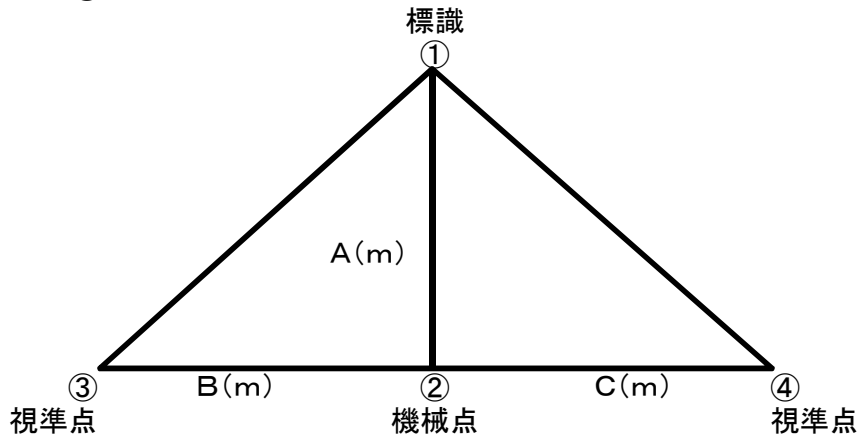
※注 復旧後の許容誤差は2mm以内です。

座 標 値 (任意座標)

標識の番号	J <sup>2</sup> J <sup>2</sup> 275-1	X	Y
撤 去 前		0.523	-1.735
復 旧 後			

## 標識一時撤去の際の注意点

- ①は移設対象の標識(地籍図根多角点)
- ②は機械点
- ③及び④は視準点



基本的に下記のとおり、視準点(③及び④)を設置してください。

**$A \leq B$ かつ $A \leq C$** 、できれば $B = C$ が望ましい。

ただし、現場状況により、出来ない場合は地籍調査グループと事前協議を行ってください。

標識(地籍図根多角点)が一時撤去時に破損または再利用できない場合は、無料で金属鋳を支給していますので、担当部署にお越しく下さい。



この真鍮製の場合は、新しい金属鋳に変更しますので、申請の際に申し出てください。

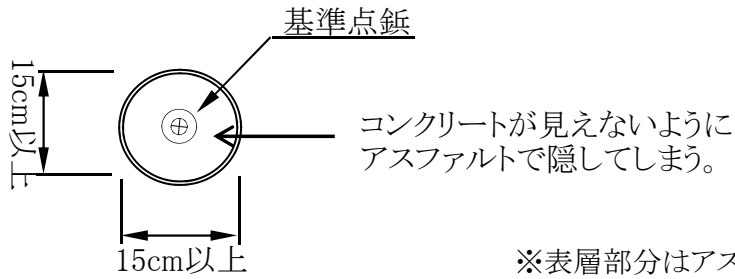
担当部署 大村市 財政部 用地管財課 地籍調査グループ

連絡先 0957-53-4111(内線358)

# 標識の埋設方法

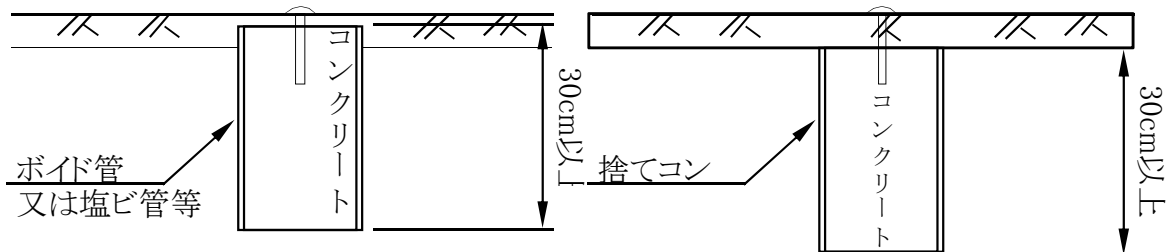
アスファルトに復元する場合

地下埋標(1)



地下埋標(1)

※表層部分はアスファルト仕上げをお願いします。  
コンクリート巻き部分の写真を添付して下さい。



地下埋標(2)

